

新規プロジェクトの作り方 VC2015Ver.

基礎輪講2017

準備

ファイル

→新しいプロジェクト

→VisualC++ Win32 コンソールアプリケーション

デフォルト 「documents¥visual sutdio 2015¥Projects」

最近使用したファイル

.NET Framework 4.5 並べ替え基準: 既定



インストール済み テンプレートの検索

インストール済み

テンプレート

Visual C++

ATL

CLR

全般

MFC

テスト

Win32

LightSwitch

他の言語

その他のプロジェクトの種類

モデリング プロジェクト

サンプル

オンライン



Win32 コンソール アプリケーション

Visual C++



MFC アプリケーション

Visual C++



Win32 プロジェクト

Visual C++



空のプロジェクト

Visual C++



メイクファイル プロジェクト

Visual C++

種類: Visual C++

Win32 コンソール アプリケーションを作成するためのプロジェクトです。

名前(N): ConsoleApplication1

場所(L): c:\users\demo\documents\visual studio 2012\Projects

ソリューション名(M): ConsoleApplication1

参照(B)...

☒ ソリューションのディレクトリを作成(D)☐ ソース管理に追加(U)

OK

キャンセル



Win32 アプリケーション ウィザードへようこそ

概要

アプリケーションの設定

現在のプロジェクト設定:

- コンソール アプリケーション

現在の設定を有効にするには、**完了**をクリックしてください。

プロジェクトの作成後、プロジェクトの readme.txt ファイルでプロジェクトの機能と生成ファイルに関する情報を参照してください。

< 前へ

次へ >

完了

キャンセル



アプリケーションの設定

概要

アプリケーションの設定

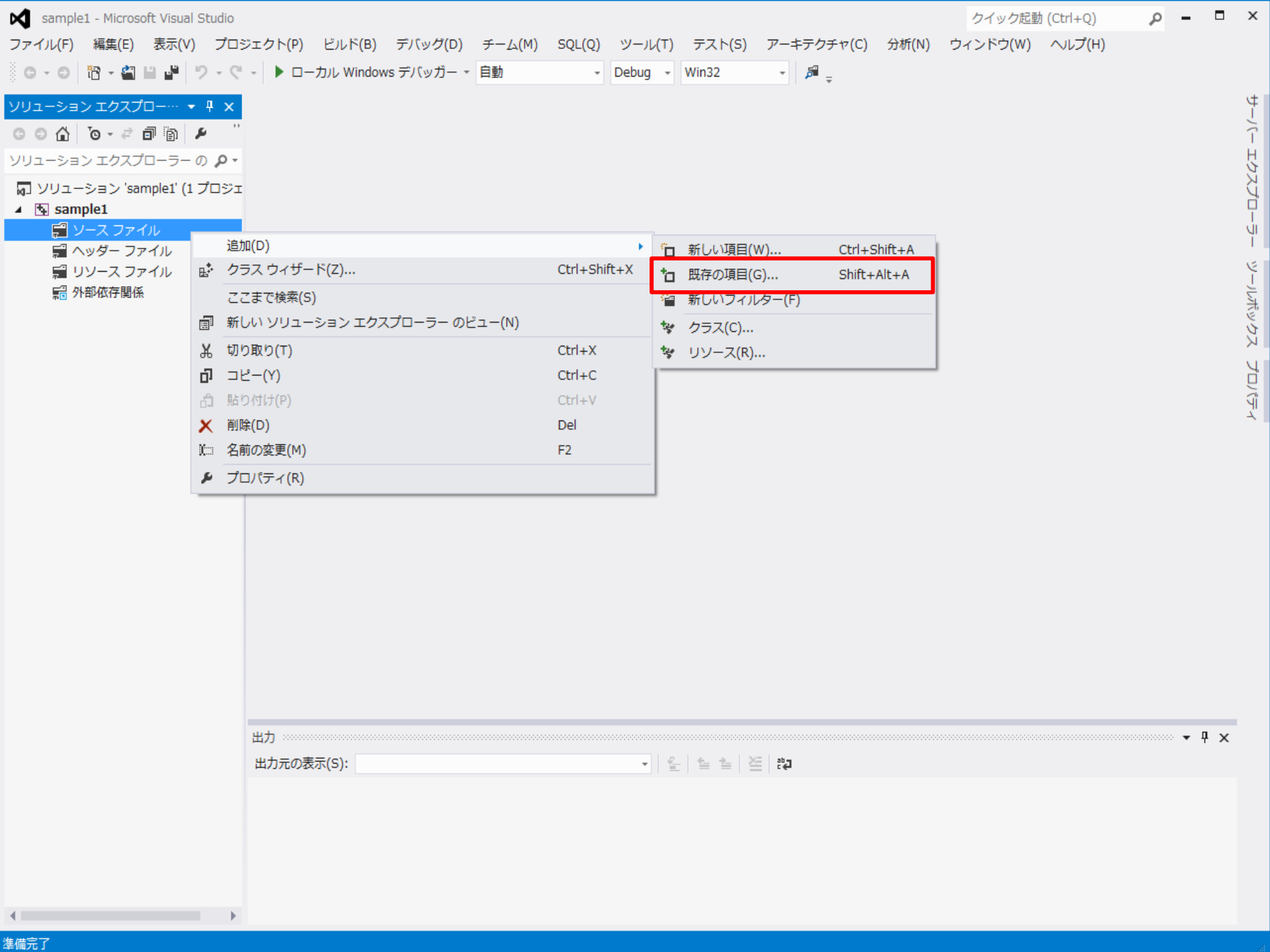
- アプリケーションの種類:
- ☐ Windows アプリケーション(W)
 - ☒ コンソール アプリケーション(O)
 - ☐ DLL(D)
 - ☐ スタティック ライブラリ(S)

- 共通ヘッダー ファイルを追加:
- ☐ ATL(A)
 - ☐ MFC(M)

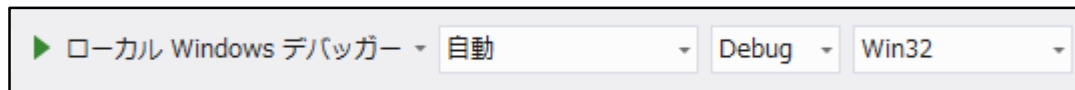
追加のオプション

- ☒ 空のプロジェクト(E)
- ☐ シンボルのエクスポート(X)
- ☒ プリコンパイル済みヘッダー(P)
- ☐ Security Development Lifecycle (SDL) チェック(C)

← 空のプロジェクトを選択

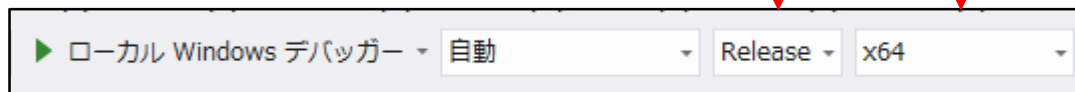


デバッグの方法



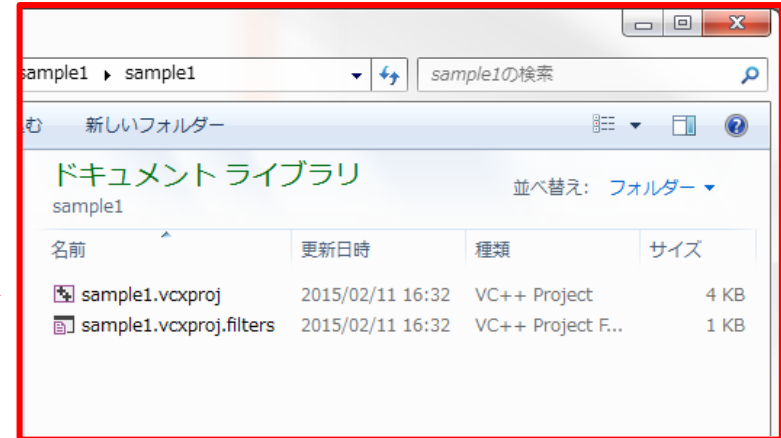
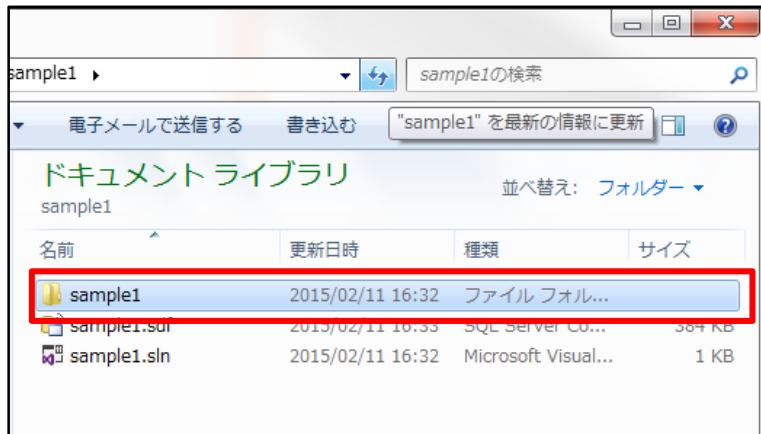
Debug or Release

32bit or 64bit



32bitと64bitを切り替えると必要なlibファイルなどが変わるので注意

作業フォルダ



(デフォルトの場合)

ドキュメント→visual studio 2015→Projects→プロジェクト名

このフォルダにサンプルコードの
main.cpp, main.h, image, output をコピー

ファイルの追加

ソースファイル

→右クリック

→追加

→既存の項目

→main.cpp

ヘッダーファイル

→右クリック

→追加

→既存の項目

→main.h

ライブラリへのリンク

- インクルードファイル
→用意されている関数の宣言
opencv.hpp等
- ライブラリファイル
→用意されている関数の中身
opencv_world320.lib

OpenCV等のライブラリを使うためには、Visual Studioの設定で上記のファイルがどこにあるかを設定する必要がある。

- インクルードディレクトリ
- ライブラリディレクトリ
- ライブラリファイル

環境変数の追加

環境変数

プログラムファイルのある場所を記述したもの

→windowsボタンを右クリック

→システム

→システムの詳細設定

→環境変数

→pathをダブルクリック

→新規

→C:¥Libraries¥opencv¥build¥x64¥vc14¥bin を追加

プロパティシートの追加

プロパティシート

インクルードファイル、ライブラリファイルの場所が書かれたファイル

→表示

→その他のウィンドウ

→プロパティマネージャー

→ConsoleApplication1 (自分で設定したファイル名)

→Release| x64 を右クリック

→既存のプロパティシートを追加

openCV_release_64.props を選択

プロジェクトの実行

ローカル Windows デバッガー をクリック

